

時局日誌 (三十八)

Y

H

生

九月十九日

政府は十九日御前會議を開催したが同會議終了後午後七時富田内閣書記官長より左の如く發表した。「九月十九日午後三時より宮中に御前會議開かれ參謀總長官軍令部總長宮、内閣總理大臣、陸軍、海軍、外務、大藏、星野企畫院總裁の各國務大臣、樞密院議長、參謀次長、軍令部次長出席し重要國務につき慎重審議の午後六時終了せり」

時局日誌

九月二十日

リを食つて一部損害を被つた、危険の切迫に宿直中の大使館員は十九日早曉午前三時御眞影を奉じて上村參事館ほか多數日本人の居住するマウント・ロイヤル・ホテルに避難したが、大使館員も取敢へず安全な場所へ立退くやう命ぜられた。

長くも大元帥陛下には輝く紀元二千六百年にあたり特に來る十月二十一日秋色濃き東京代々木原頭において記念觀兵式を御舉行あらせられる旨次の如く二十日午後四時諸兵指揮官、諸兵參謀長、參謀、副官の發令とともに陸軍省から發表された。

陸軍省發表 天皇陛下におかせられては紀元二千六百年にあたり特に十月二十一日代々木練兵場において記念觀兵式を舉行あらせらる。

指揮官以下本二十日左の通り發令せられたり。

陸軍大將 鳩 彦 王

紀元二千六百年記念觀兵式諸兵指揮官被仰付

陸軍中將 澤 田 茂

紀元二千六百年記念觀兵式諸兵參謀長被仰付

陸軍少將 神 田 正 種

陸軍大佐 久野村桃代

同 唐川安夫

陸軍中佐 田中良三郎

同 折田正男

同 木下秀明

陸軍少佐 中吉 孚

同 有岡義貫

同 長谷部清

同 西浦和夫

同 衣川慶太郎

付 紀元二千六百年記念觀兵式諸兵參謀被仰

尙は觀兵式當日の地上參加兵力と範圍は東京師管内の軍隊および學校で數萬を算へ、空中部隊數百機の分列も行はれ大元帥陛下親臨のもとに空陸呼應して長期戦下の皇軍の威武が遺憾なく發揮される帝都では當日百一發の禮砲が發射されるが軍當局では記念觀兵式御舉行の聖旨にかんがみ式場設備の許すかぎり多數の官民に陪觀の光榮を分たしめたいとの方針で一般陪觀者のほか靖國神社參拜のため

上京中の遺族にも陪觀を差許されるやう目下手續中で陪觀者の總數は數萬に達する見込みである。

なほこの日帝都の觀兵式舉行と同時に期して内地、朝鮮、臺灣の各衛戍地でも觀兵式と禮砲式が行はれる、當日雨天、強風または式場泥濘の場合は觀兵式は翌二十二日、なほ雨天の節は適宜順延されることになつてゐる。

交通道德の普及向上をはからうと大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀、三重の近畿二府五縣ならびに大阪鐵道局が聯合して行ふことになつた交通再訓練週間はいよいよ明二十日から幕を開ける、すなはち各府縣とも警察官をはじめ各種交通機關職員らを動員、花々しく活動をはじめ、大阪府ではこの日午後五時半から中之島中央公會堂で交通、講演會を開催、講演や映畫があるほか交通紙芝居「義足の父」「日本の誇」などを朝十時ごろから市内各所で上映、さらに發聲自動

車、發聲機までも繰出して次のやうな各種訓練を行ふ。

◇ 一列訓練 汽車でも電車でも乗場と名のつくところでは先着順に必ず一列を作らせる

◇ 乗降訓練 降りる者は一列を作つて左へ降りる、それが終つてから乗る者は列を作つたまゝ乗込む

◇ 車内訓練 乗車口を塞がぬこと、傷痍軍人、老幼者に座席を譲ること、荷物は棚に、幼児は膝に抱くこと

◇ 交通信號訓練 交叉點における各種信號訓練を行ふとともに交叉點以外でも左側通行、自動車の速度などを嚴守させる。

◇ 船舶訓練 右側航行、點燈、繫留の諸訓練を施す。

またこの週間中電車、バス、タクシー事業者は運轉手に對しては「絕對無事故」車掌に對しては「乗客に對し懇切明朗を

旨とする」となどを指示勵行せしめ、ト
ラツク商業組合は要員を各所に配置、ト
ラツクの駐停車、積卸などを監督指導さ
せる。

鐵道の演練 大鐵局の「交通道德向上
週間」はまづ管下全鐵道職員が自肅し率
先して交通道德の實踐を行ふはもちろん
一般旅客に對しては出札、改札口および
乗降場における秩序保持、飛降り、飛乗
り、見送人の車内立入、荷物による座席
先取などの禁止を行ひ、とくにこの週間
中は學生生徒の通學刷新を企圖しラツシ
ユ時は一般客に座席をゆづることを勸誘
する。

九月二十一日

揮發油及重油販賣取締規則中改正(商
工省令第七四號)

自轉車並ニ同部分品及附屬品配給統制規
則(商工省令第七五號)公布

九月二十二日

米太平洋艦隊司令長官リチャードソン

時局日誌

大將は廿三日ハワイ出發ワシントンに向
ひソックス海軍長官も過般太平洋の防備
施設を視察ワシントンに歸着したばかり
であるが、入れ替りに下院海軍小委員會
の委員連が太平洋岸視察に出發した、又
國防諮問委員會では明かに日本の南進を
考慮に入れつゝ一ヶ年分の錫所要量を貯
藏するに決定した旨發表した。更に二十
一日にはロンドンから目下ワシントンで
進行中の英米濠三國交渉は軍事的なもの
である旨英當局が確認したとの情報が入
り日本からはシンガポール問題に重要關
心を持つてゐるとの東京電報が入る等太
平洋問題が米外交當面の最大問題として
米國民の關心を集めてゐるが同日共和黨
の大統領候補ウィルキー氏は別項の如く
對支援助強化、太平洋に根據地獲得を絶
叫米國の極東政策は今後民主黨、共和黨
のいづれが勝つにしても變らざるのみか
他國との協力或は獨力で一層強化さるべ
き勢を示すに至つた。

九月二十三日

長い間隱忍自重の態度をもつて漸く妥
結に達した日佛間の佛領印度支那に關す
る諒解にも拘らず國境地方に於て紛争を
生ずるに至つたのは全く佛印側の誤解に
よることであり、自然この誤解は近く去
り妥結を見た話合通り圓滿平和的な實行
が見られることであらう。日佛兩國間の
平和的の話合に基くことであつて見れば
如何なる外國からも文句のあらう筈は毛
頭ない。

松岡外相は去る八月中、駐日フランス
大使アンリー氏と會見して帝國陸海軍が
佛領印度において必要とする軍事上の便
宜供與方について交渉の結果同月二十五
日及び三十日佛當局は帝國の申入を承諾
した。これに基き帝國は佛印滞在中の監
視團委員長西原一策少將各委員をして、
佛印軍當局と九月初旬以來交渉せしめた
ところ、二十二日協定成立わが陸海軍部
隊は右協定に基き廿三日曉進駐を開始し

た尙佛印當局の命令不徹底のため佛印軍との間に、若干紛争を生じたが間もなく解決、向日大本營並に外務當局より左の如く發された。

日佛印現地當局間においては八月廿五日及び同三十日纏まりたる日佛兩國政府間の話合に基き九月初旬以來軍事問題に關し交渉中のところ九月二十二日午後四時三十分(日本時間)に至り協定の成立を見たるをもつて陸海軍部隊は本協定に基き本二十三日佛印北部に平和的進駐を開始せり、わが部隊の國境通過に當り一部若干の紛争を見たるものゝ如きも今後大なる支障なく進駐完了に至るものと期待しあり

外務省發表 支那事變を解決し東亞新秩序建設に資する目的を以て佛領印度支那問題に關し松岡外務大臣は去る八月中旬東京においてアンリー在京佛國大使との間に友好的精神を以て基礎的話合を行ひたり、右話合において佛國側は支那事變

完遂上帝國陸海軍が印度支那において必要とする軍事上の便宜供與を凡て承諾せり、尙右に基き現地において具體的決定を行ふ爲麗來在河内日佛軍當局間に交渉行はれ居たる處漸く九月二十二日午後安結に到達せり。

今早朝來日、佛印間の協定に基き進駐を開始せる我が軍に對し不法なる抵抗を續けありしドンダン附近の佛印軍は午前十一時に至り遂に降伏せりよつて我が軍は戰鬪行爲を停止しこれが武装を解除せり。

九月二十四日

國民體方法施行令(勅令第六二〇號)
借地法及借家法ノ期日及施行地區ニ關スル件(勅令第六二一號)、借地借家調停法ノ施行期日及施行地區ニ關スル件(勅令第六二二號)公布

大橋外務次官は二十四日午後六時三十分次官官舎にクレイギー英大使を招致しシンガポールにおける英國官憲による帝國

總領事館員並に邦人の逮捕、總領事館の不法搜索、館用金庫の封印等暴戾なる行爲に對し嚴重抗議すると共に英政府の反省を促し速かに事態の解決方を要求した。

二十三日ロンドン空襲とは別にドイツ空軍はケンブリッヂを襲ひ、この英國の古い大學の町に爆彈の雨を降らせた、獨軍發表によれば、これはドイツの學都ハイデルベルヒが過般英國機に爆撃されたのに對する報復なりと説明されてゐる。廿三日中の獨英兩國空軍の損失は英機廿五機、獨機六機であると。

二十三日午後十一時二十分より二十四日未明にかけて四時間近くベルリン地區に空襲警報が發せられ、高射砲の轟音が響き渡り從來の中で最も激しい英機のベルリン空襲が行はれた。市の東部及び西部更にベルリン市内にも多數の爆彈が投下された模様で爆撃は主として住宅街に行はれドイツ側の發表では市民十一名が

死亡した。

二十三日夜間ベルリンを攻撃せる英空軍は戦争開始以來最も強力なるものであり攻撃はベルリンの主要發電所並にガス工場に對し行はれ甚大な損害を與へた。

英機の若干機隊はこれを以てベルリン空襲は第四回目となり他の若干機は第三回目の爆撃を行つたこととなるが右攻撃は周到なる注意の下に計畫されたもので如何によくこの計畫全般が實行されたかは英機の一大編隊を指揮した士官が「我が機は發着時間の正しい汽車の如く規則正しい時間的間隔をおいて出撃に向ひ且規則正しい時間で基地に歸還した」と説明してゐることによつても判定し得るところである。

かくて英機は西部發電所とウィルマースドルフ、シャールロッテンブルグ、クリンゲンベルグ、モアピット（總てベルリン地區）の各發電所に執拗なる爆撃を加へ各所に火災の起るを認め、一

英機の如きは五箇所に大火災を起さしめその焰は八十マイルの距離を隔てて目撃するを得た、又他の英機は某發電所に對し四箇所から發火せしめたといはれ、クリンゲンベルグ、ウィルコースドルフにおいても亦爆弾は發電所を炎上し焰は空高く舞上つたと、英空軍省は發表す。

九月二十五日

衛戍令中改正（勅令第六二四號）公布

九月二十六日

國民體方法施行規則（厚生省令第三六

號）公布

畏き邊では今次事變に赫々たる武功を樹てて護國の英靈となつた一萬二千六百二名に對して恩賞の御沙汰あらせられ、第二十五回行賞（陸軍第二十一回行賞）として二十六日賞勳局並に陸軍省から發表された、漢口攻略戦をはじめ山西省北部地區、滿洲ノモンハン附近、南支南寧附近の戦鬪に活躍し昭和十二年七月二十六日

から同十五年四月二十九日まで死没した勇士で、戦死者七千二百四十六名、病死者五千三百五十六名、そのうち名譽の金鷄勳章を賜はるもの七千四百三十三名の多きに及んでゐる、殊勳甲の優勝者は蒙疆廣野の追撃戦に於て壯烈な戦死を遂げた小林一男少將以下百十七名であるが世界空軍史上に比類のない偉勳を樹てたノモンハン空の勇士多数が優賞の光榮に浴してゐるのは注目される。

我が海路進駐部隊は本朝平和裡に海防附近に上陸を完了せり東亞共榮圈確立の正義の使命に燃えるわが西村佛印海路進駐部隊は二十六日早朝佛印官民歡迎の下に極めて平和裡に海防岸壁に上陸、偉大なる歴史的第一歩を印した。

大政翼賛會首腦部の人選については近衛首相と有馬伯の間で銓衡の結果、既報の如く内定を見たので二十六日午後二時半より首相官邸に有馬伯、風見法相、富田書記官長、後藤文夫、後藤隆之助、古

野伊之助の諸氏參集して各候補者に交渉を行ふと共に前後九時間に互り、協議を重ね近衛首相の統裁を仰いだ結果左の如く常任總務及び事務局局長の人事を正式決定、常任總務は十一名に増加し事務局の構成は東亞局を取止め總務、議會組織企畫の四局とした。よつて近衛首相は右の人事を廿七日の定例閣議に附議、各閣僚の諒解を求めることとなつた。なほ運動綱領の検討及び總務會議長、協力會議長、總務、顧問及び參與等の人選については更に廿七日有馬伯等の會議續行のうへ正式交渉する。

常任總務(十一名)

- 有馬頼寧伯
- 後藤文夫
- 前田米藏
- 永井柳太郎
- 大河内正敏子
- 井田馨楠男

(旅行中につき交渉中)

(二十七日朝回答)

- 古野伊之助
- 中野正剛
- 橋本欣五郎
- 八田嘉明

なほ右のほか岡田忠彦、金光庸夫兩氏のうち一名

- 事務總長 有馬頼寧伯
- 總務局長(兼任) 有馬頼寧伯
- 議會局長(兼任) 前田米藏
- 組織局長 後藤隆之助
- 企畫局長 小畑忠良

ルーズヴェルト大統領は二十六日層鐵及び鐵鋼の輸出制限令を發し十月十六日以後は西半球諸國及び英國以外の國に對しては輸出を禁止する旨發令した。

九月二十七日

日獨伊三國條約締結に當り長くも、天皇陛下には二十七日優渥なる詔書を下し給ひ現下内外の重大時局に際し國民の嚮ふべきところを垂示遊ばされた、思ふ

に、國を擧げて大東亞共榮圈の確立に邁進する秋一億國民は恐懼感激聖旨を奉戴して更に協心戮力聖慮に應へ奉らねばならぬ。

詔書

大義ヲハ統ニ宣揚シ坤輿ヲ一宇タラシムルハ實ニ皇祖祖宗ノ大訓ニシテ朕ガ夙夜眷々措カザル所ナリ而シテ今ヤ世局ハ其ノ騷亂底止スルトコロヲ知ラズ人類ノ蒙ルベキ禍患亦將ニ測ルベカラザルモノアラントス朕ハ禍亂ノ戡定平和ノ克復ノ一日モ速ナランコトニ軫念極メテ切ナリ乃チ政府ニ命ジテ帝國ト其ノ意圖ヲ同ジクスル獨伊兩國トノ提携協力ヲ議セシメ茲ニ三國間ニ於ケル條約ノ成立ヲ見タルハ朕ノ深ク懽ブ所ナリ

惟フニ萬邦ヲシテ各々其ノ所ヲ得シメ兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安ンゼシムルハ曠古ノ大業ニシテ前途甚ダ遼遠ナリ爾臣民益々國體ノ觀念ヲ明徴ニシ深ク

驟リ遽ク慮リ協心戮力非常ノ時局ヲ克服シテ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セヨ

御名 御璽

昭和十五年九月二十七日

日獨伊三國政府は豫て三國同盟に關する條約交渉について東京、ベルリン、ローマにおいてそれ／＼折衝が進められ特に獨政府がスターマー氏を特派公使として帝國に派遣するに至つて東京交渉は異常に進展を見せ一方獨外相リッペントロツプ氏の訪伊によつて三國交渉は急速に進捗、このほど三國間に完全に意見一致し妥結を見た。よつて三國政府はそれ／＼所定の國內手續を了しいよ／＼二十七日後八時十五分(伯林時間午後一時十五分)伯林ヒットラー總統官邸において帝國代表來栖駐獨大使、リッペントロツプ獨外相、チアノ伊外相の三代表間に調印を終つた。この歴史的調印による三國同盟條約は獨日伊三ヶ國語で記載されその劃期的使命と意義は六ヶ條の條文に盛られて

時局日誌

ゐる。帝國は獨伊兩國と打合せの上同日午後九時十五分右條約要旨を三國同時に發表すると共に近衛首相は長くも大詔を拜して内閣告諭を發し同時に松岡外相謹話の外河田藏相兼商相代理、石黒農相談を發表して帝國不動の使命と方針並に國民の毅然たる態度を要望した。また獨伊兩國に對しては近衛首相からヒットラー獨總統及びムソリーニ伊首相宛祝電を發し、松岡外相また獨伊外相に祝電を發し同夜國際電話によつて重ねて祝詞の交換をなし三國同盟條約調印によるすべての態勢は同日中に完了した。こゝに近衛内閣によつて標榜された外交方針の轉換は實現、世界平和の確立を目指す三國同盟の成立により日獨伊三國の樞軸は格段の強化を見、對ノ關係は本條約による影響なしと明記して三國對ノ聯との新外交方針を明らかにし世界新秩序の建設完成は一段と促進されるであらう。

專斷下の我國に潛入して軍事はもとよ

り政治、經濟、外交等各方面に互つて銳くスパイの眼が注がれてゐるので、司法部及び憲兵隊では去る七月二十七日英國系諜報機關に對し一齊に檢舉の鐵鎚を加へ、東京、横濱、神戸、下關、長崎等の憲兵隊檢事局に於て銳意取調中であつたが既に十名については陸軍刑法、海軍刑法、軍機保護法、要塞地帶法、船舶安全法並に銃砲火藥類取締法施行規則、軍用資源秘密保護法、及び無線電信法違反の如くで起訴、内七名には有罪の判決ありなほ數名は捜査中であるが漸く一段落を見たので三十日午後記事差止を解除職探すべきスパイの全貌が明るみに暴露され

た。
大東亞の共榮圈を確立するには日本技術の獨立が絕對に必要だ、日本技術を歐米技術から切り離して獨自な素嗜らしい發達を圖らう——さきに民間技術界の新體制として百餘團體を總動員して誕生した全日本科學技術團體聯合會では初仕事

として先づこの目標に最初の斧を引込むことゝなつた。

明治以來澎湃として訪れた外國技術の波は漸く伸びんとした日本技術の芽に好箇の肥料となつて獨自の發達をも促し既に造船、土木技術等外國のそれを遙かに凌ぐ高峰を築いてゐるが、興亞の新時代に際して日本技術を全面的に向上させようとの意見が高まり同聯合會の初仕事となつたものである。

九月廿七日午後六時から東京會館に開催の理事會で具體策を決定するが先づ同聯合會内に技術水準調査に關する總務委員會を設け

- 一、外國技術依存より離脱
- 二、外國技術と日本技術との水準の比較
- 三、技術水準の向上を阻む主な原因
- 四、國防技術上の要請に對する現在の技術

衛意
等について基本的な調査を遂げ重點を冶金、合成化學、燃料機械、航空電氣、採

鑛、衛生の八點におく戰法をとることゝなつた。

九月二十八日

昭和十二年法律第九十二號（輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件）第二條ニ規定スル措置ノ實施上必要ナル事務ヲ市町村長等ヲシテ行ハシムルノ件（勅令第六四七號）公布

- 任鐵道大臣 從三位勳二等 小川郷太郎
- 任拓務大臣 從三位勳一等 秋田清
- 任厚生大臣 從三位勳三等 金光庸夫

日獨伊三國同盟の重大性に鑑み近衛首相は二十八日午後四時から前首相を首相官邸に招き現下の國勢情勢につき懇談することになつた。列席者は熱海滞在中の

- 清浦奎吾伯並に目下旅行中の平沼騷一郎
- 男と南京の阿部信行大將を除き若槻禮次郎男、岡田啓介大將、廣田弘毅氏、林銑十郎大將、米内光政大將の五前首相、政府側からは近衛首相並に條約關係閣僚として松岡外相、東條陸相、及川海相、河

田藏相、星野企畫院總裁等である。近衛首相並に松岡外相から條約締結までの經緯國際情勢について説明し今後の國際情勢の展開は我國としても誠に重大視すべき秋であり斷乎たる決意を以て對處せねばならぬ旨を披瀝し、國內一致の強力なる支援を要望する。なほ新體制についても首相から説明諒解を求めることにならう。

二十八日附をもつて左の通り發令ありたり

- 陸軍中將 田中靜壹
- 補憲兵司令官
- 補軍事參議官 陸軍中將 土肥原賢二

九月三十日

陸軍在郷人職業申告規則（陸軍省令第三四〇號）公布

十月一日
石炭品位取締規則（商工省令第七七號）
木炭賣渡手續（農林省告示第六二號）公布

十月三日

用紙配給統制規則(農林省令第八七號)

公布

閣院參謀總長官殿下には去る昭和六年

十一月二十三日以來滿八年十ヶ月の長き

に互り參謀總長の重責を擔はせられ帷幪

の大任に奉仕せられその間滿洲事變、支

那事變と極めて多事なる際御高邁なる御

識見と御經驗とをもつて帷幪の機務を御

處理遊ばされ殊に支那事變當初は御高齡

の御身をも厭はせられ早朝より深夜ま

で御精勵あらせられ建軍以來嘗てその例

を見なかつた長年月參謀總長に御在任遊

ばされた。然るところこの度總長官殿下

には更に重要な御職務を御遂行遊ばさ

るゝため參謀總長の御職務を御離れ遊ば

され今後は専ら元帥府議長、軍事參議院

議長に就かせられ軍務に御精勵あらせら

れることとなつた、參謀總長の後任には

軍事參議官杉山元大將が親補せられるこ

ととなり三日午前官中において親補式が

執り行はせられ、同日午前十時半陸軍省
から左の通り發表された。

免本職 參謀總長元帥陸軍大將 載仁親王

補參謀總長 陸軍大將 杉山 元

十月四日

砂糖配給統制規則(商工省令第七九號)

マツチ配給統制規則(商工省令第八〇

號)公布

海軍航空部隊は四日四川を掩ふ密雲を

突破成都攻撃を敢行、市外軍事施設を爆

撃、甚大なる損害を與へたり右攻撃に參

加せる戦闘機隊は我に向ふ敵機なしと見

るや機首を轉じて敵空軍の本據大平寺飛

行場を奇襲、空中において敵機六機を撃

墜、續いて地上にある二十五機を銃撃炎

上或は大破せしめたり。

十月五日

煉炭配給統制規則(商工省令第八一號)

公布

我國最初の實戰的訓練——特別防空演

習は四日最後の夜を迎へた、朝來快晴の

秋空に乗つて京濱港灣施設、軍港鐵道、
通信機關等を目がけ東日本一帯に猛威を

振つた敵機は夕刻南關東より侵入、麴町

住宅街を先づ襲ひ一時退散したが午後七

時頃から警戒管制の闇にかくれた帝都を

ねらつて襲來、こんどは〇〇の工場地帯

から繁華街に鋒先を轉じ澁谷、上野、淺

草と次々に巨彈の雨を降らせた、無數の

照空燈は夜空に鋭い光芒を投げて交錯、

高射砲陣地は一齊に火を吐き、繁華街一

帯が死の街と化し、やがて渦巻く火炎の

中に警戒團、家防庭空群の想定下の必死

の活躍が見られ、星空の美しい夜は凄慘

な光景に彩られた、掉尾の第五日は拂曉

から京濱一帯に敵の空襲が集中され、壯

烈な空中戦と防衛陣の活動によつて朝九

時頃攻防戦は終幕となり、長くも東久邇

宮殿下を統監に奉戴して東部軍管區と弘

前而管に實施された實戰的訓練は劃期的

効果ををさめて終了する。

我が陸戦隊の雷州半島急襲作戦のその

後知り得たる状況左の如し

一、敵保安隊數百名は我が陸戰隊の上陸を見るや逸早く大陸奥地高州、鬱林方面に逃走せり。

二、綜合戰果左の如し、敵遺棄死體詳細不明なるも砲撃により甚大なる死傷ありしこと確實なり、破壊及び燒却家屋四百五十棟(兵舎倉庫等數十棟を含む)處分或克三百三十五、鹵獲品小銃彈藥等多數

三、我が方被害なし

十月六日

海軍航空部隊は本日第四十一回重慶爆撃を實施し市街及び郊外殘存各軍事施設を爆碎多大の戰果を收めたり、又別動隊は梁山を奇襲甚大なる損害を與へ何れも全機無事歸還せり

戰時國民生活に痛烈な肅正の一撃を加へた七・七禁令(贅澤品禁止令)が公布されて販賣猶豫期限たる十月六日がいよいよ今日、けふ限りの贅澤品のいもちで

ある。寶石、裝身具、一定價格を越す高級品、悉く七月七日の製造禁止に次いでけふの販賣禁止に會ては富めるものゝ象徴、贅澤品も戰時下無用の長物と成り果てるわけだ。

十月七日

海軍航空隊の精銳○○機は今七日長驅雲南の山嶽地帯の霧雲を突破し昆明を空襲、折柄同市上空に待機中の敵戰團機十數機と交戦しつゝ兵工廠その他敵軍事施設に猛爆を敢行これを炎上せしめ甚大なる損害を與へ全機基地に歸還せり、この攻撃において敵戰團機十四機撃墜、地上におけるもの四機を大破せしめたり我が方損害なし。

海軍航空隊の精銳○○機は七日長驅雲南の山岳地帯の霧雲を突破して昆明を急襲、折から同地上空に待機中の敵戰團機十數機と交戦しつゝ兵工廠その他敵軍事施設に猛爆を敢行、これを炎上せしめ甚大なる損害を與へ全機基地に歸還せり本

攻撃において敵戰團機十四機を撃墜地上におけるもの四機を大破せしめたり、わが方損害なし

近衛内閣初の地方長官會議は七、八、二日間互つて開かれるが、今度の會議は「新體制會議」といふべき性質のもので七日に行はれる大政翼賛會事務局總長有馬頼寧伯の指示を中心に、翼賛運動の地方組織および國民層への徹底等の重要問題に就て活潑な討議が展開されるものと見られ、殊に翼賛會地方支部長選任方法は何處に落着く?勿論會議の席上で明示される筈ではあるが新體制實現の浮沈にも係はる問題なので地方長官側からは米穀木炭等の生活必需品問題と共に切實な地方實情が開陳されるものと期待されてゐる、異常な緊張の裡に六日の招集日を目指し既に上京或は上京の途に就きつゝある地方長官から會議に臨む意見とその抱負を聴く――

矢野富山知事米のあるのも辛いものだ

よ、縣民には勿論節米を強調してゐるが富山は代用食に乏しい處で一人當り一石一斗が標準なのに一石三斗食べる、それでも、もう早場米を六萬石出したよ、困るのは木炭だ。米は出すから炭をなんとかしてほしいといふのが縣民の叫びだ新體制運動については既に七月頃から舉縣一體體制の運動を起してゐる、みんな一つになることだ、……とそこは素朴なものだ實にうまくいつてゐる。町村がどしどし合併してゐる。例の越中賣藥なども三十餘の大小會社があつて二千人の職工と一萬人の行商人が居たがこれも一つにしてしまひ、職工、行商人合せて九千人がこの勢力不足の時代に浮んだのだ、縣内に着々國土計畫を進めてゐる、水の三段利用法、つまり水力電氣——激濤用水——工場用水と無駄なく使ふ爲には土地の利用を研究しなければならぬ……とかく、昔と違つて縣民も自分の生活にピンと響くから知事に期待するだらうし

知事だつて皆一生懸命勉強しとるよ。

半井大阪府知事 近畿プロツクの米食時間設定。代用食強行などは端境期までのつもりだが、今後外米依存の狀態から脱却出来ないとする更に續行して消費規正の徹底をはからねばならない、次に新體制の地方支部長は府縣知事を充てるべきだと確信する、これは現下の地方事情を知る人なら異論のないところだと思ふ企業合同については中小商工業者の多い大阪としては今後當面する最大の問題だから商工省の一部局の問題としてのみでなく政府が眞剣に對策を考慮して貰はねばならず、現在既に關係業者はその進路について悩んでゐるから將來に希望を持たせるやうな對策樹立が緊急事である。

小濱靜岡縣知事

大政翼賛會地方支部長の問題は中央で未決定なのだから兎や角いふのをかしていわけだが知事が支部長を兼ねるのが一

番妥當なこと考へる、といふのは總裁が政府の首班に座り全國民に號令をかけるのだから政府の出先として知事がその意を體し縣民を推進するといふやり方が一番實効的ではないだらうか、知事個人を取上げて支部長としての適不適をいへばそれは又別問題だ米は本縣は第一回豫想で平年作より三分五厘の減收となり殘念に思つてゐる。増産方法として耕地の擴張が望めない實情から指導に重點を置き相賞努力したつもりだ代用食には差當り裏作に大麥を奨励する計畫である。

相川廣島縣知事

廣島縣米作は昨年の早魃に比し餘程増收で平年作以上かと思ふが人口が多いから矢張り移入の必要があり混食による節米は一層強化を期してゐる。國家管理に近い統制の強化には大いに期待するが米だけ統制せず、これと併行して肥料の配給を十分考慮すべきではないか、木炭は輸送力不足のため山元に停滞して備在してゐる傾向が多いの

で物資の輸送力を増強する施設が望ましい、新體制地方支部長の人選については中央が總理大臣と總裁が一本であるからには地方でも知事が支部長となることは理論的に筋が立つのではないか、併し知事を支部長とすることについては民論を尊重する爲にも従來の如く煩繁な知事の異動は是正さるべきだとの意見は尤だ。

岩上秋田縣知事 今回の米の統制について政府は集荷配給の計畫統制に重點を置いてゐるが自分はこれを生産面も取入れ部落に協同作業班を組織させ、生産、集荷、配給、消費と一貫した型を取り生産に重點を置いた炭木材等もこの考へだ。

本間福岡縣知事

翼賛運動に就ては中央の指示によつて進むべき道が明らかにされるだらうから今私見を喋々すべきでない。たゞ地方の聲としては支部長には知事が最も妥當だらうといふのが高いし私も同じ意見を持つてゐる、中心となつて推進して行くだ

けの力がない長官ならぬなくともよいのではあるまいか、何處に落着くか兎に角摩擦を避け縣民一體となつてこの難局を切抜けなければならぬと考へてゐる。米作は今年は風害のために平年作とまでは行かないが幸ひ今年は増産を圖つた小麦が非常な上作でホツとしてゐる。

土居石川縣知事 翼賛會支部長問題か、難しい問題だな——私の縣には二十年、三十年と長い間町村長を勤めてゐる人達がゐる、かういふ人達こそ黨派に偏らず公益優先で徹して來た立派な人格者なのだ翼賛精神の徹底はかうした人々が推進になつてはじめて完成するのではあるまいか。石川縣には麥をはじめ雜穀が殆どないので已むを得ず米を食つてゐるといふ實情である。私の苦しみは此處にある、といつてよい。

十月八日

天皇陛下には未曾有の時艱にあたり教學の刷新と科學振興への深き思召から爽

秋の八日、本郷の東京帝國大學に行幸あらせられた。大正七年以來二十二年、ここに聖駕の親臨を仰ぎ奉つた東大では全學を擧げて畏き理旨に感激、大學の使命達成への誓を新にしたのである。

日獨伊三國同盟の締結は國際政局に重大な渦紋を投じ特に英米方面に與へた反響は次第に深刻な様相を呈し、その對策に焦慮しつゝあつたところ、まづその第一歩として去る七月十七日三ヶ月の期限をもつて日英間に成立した濱瀨公路輸送禁絶に關する取極めが來月十七日をもつて期限満了となるを好機とし期限到來と同時にこれを再開するによつて三國同盟に對する回答となすべくこのほどから英米兩國政府間に頻りと密議が進行中であつたが、八日午前十一時クレーギー英大使は外相官邸に松岡外相を訪問、本國政府の訓令なりとして右日英取極めは來る十七日の期限到來とよみにこれを更新する意思なきことを通達の上正午辭去し

た、夫れて情報部長は左の談話を發表

「十月八日午前クレイボー英國大使、松岡外務大臣を來訪し本國政府の訓令として英國政府は來る十月十七日期限満了すべき瀧網公路輸送禁絶に關する日英間取極めを更新するの意嚮なき旨を通達の上辭去せり。」

十月九日

地方長官會議に於ける石黒農相訓示要旨
◇由來農は皇國奉仕を以てその根本理念とするものであつて、新體制の建設に當り、彌々その宣揚を圖らなければならぬ、この際時局下農林行政上特に重要な事項につき申述べ度い、第一は米穀の問題である、本年の米作は九月二十日現在の第一同豫想收穫高によれば六千三百十一萬石で、昨年實收高に比し八分四厘、前五年平均實收高に比し三分一厘の減少を示し、新米穀年度に於ける需給關係を考察すると本年度に比し一層樂觀を許さぬものがある、

政府はこれが應急對策として外國米輸入に關する適當の措置を講ずるの外内地産米は自家用を除きすべてこれを國家の管理に移し且つその大量を買入れ中央に於て道府縣を單位とする計畫的配給を爲すと共に一面消費の規正について管理米の増強に應じ、地方の實情に即して配給割制度を實施し以て國家管理の強化を圖ることとした。よつて各位は右の趣旨に依り管理米集荷の促進及び消費の規正に一段の努力を拂はれ米穀需給の調整に遺憾なからしむるやう切望する、更に又恒久對策としては内地に於ける食糧農産物の増産を圖ると共に日滿支を通ずる綜合的食糧對策の整備擴充により國民食糧の確保に備ふる方針である。

◇第二は木炭の問題である、木炭の需要増加の情勢に對應の増産助成金の交付規格の整理、價格の改訂等各般の増産促進施設を講ずると共に大消費府縣へ

の配給のために目下木炭買上に銳意努力をして居る。政府の木炭買上に關しては先般來各位の協力により本年度内を過ぎる買入見込數量は略々當初の豫定量を充すに至つたが大消費府縣の需要最盛期に備ふるためにはこの際速に多量の政府木炭を消費地において保有するの必要がある、よつて生産道府縣は速に適切なる方途を講じ極力政府木炭の増強に努力せられ、又消費府縣は生産擴充及配給統制により極力自給を圖ると共に配給割當制度の實施により消費の規正を徹底せられたい。

◇第三は肥料の問題である、硫酸及石灰窒素に關して昨夏以來の旱魃に因る生産力減退に對處し政府は電力及石灰の優先配給其の他の方策を講じ、これが追加配給を爲し得たのであるが、更に國內産肥料の生産力擴充の見地よりして極力増産を圖ることに努力してゐる又過燐酸石灰及加里鹽に關しては主と

して輸入に俟つ關係上國際情勢の變化に伴ひその供給確保に困難を加へてきたが政府としては一層努力致す所存である。しかしこれら重要肥料は何分現在の生産び輸入の状況では十分なる数量の供給は困難であるから、確保し得たる數量につき適期且公平に配分することに善慮致し度い、しかし肥料の國內供給については日本肥料株式會社及び有機肥糧配給株式會社をして夫々一手買取及び販賣の綜合的統制を行はしめ漸次末端に至る組織の整備を圖り配給上遺憾なきを期したい尙本年産の滿洲大豆及び油粕の對日供給數量について先般來滿洲國政府と交渉した結果相當量確保の協定を了し目下配給統制組織の成立を急いでゐる。

◇第四は生糸の問題である、最近の我國生糸輸出の状況に鑑み、政府は千三百五十圓を堅持する方針の下に本年七日糸價安定施設法により生糸の買上を開

始し、九月よりは帝國蠶糸株式會社をして生糸の買上をなさしめ以て輸出の振興を圖ると共に躰價に付ても糸價と均衡を得しむるため滿共同保管の施設を講じた、尙政府は今般の三國條約の締結に伴ふ國際情勢に對處の當面對策としては必要に應じ帝國蠶糸株式會社の生糸買上資金に對する融資を擴大して糸價維持に努むることと致したが將來の對策として國內纖維資源補給に重點を置く適切なる方策を樹立する。

◇第五は農林行政機構の整備刷新の問題である。農林省の機構についてはさきに閣議の決定を見たる農林商工省事務調整及び官廳事務再編成の趣旨に基き近くこれが整備刷新を行ふ、右は地方に於ける行政機構に密接なる關係を有するもので、實施の上は各位も之に應じて適切なる措置を講ぜられんことを望む、又農林關係團體の統合については既に民間團體に於ても新體制に即す

る構想の下に種々の成案を得てゐるのと近く農林計畫委員會に諮問の上適當なる組織を樹立致し度い。

十月十日

金買上規則(大藏省令第七三號)

牛乳及乳製品配給統制規則(農林省令第八九號)、工業試驗所處務規程(商工省訓令第五號)、金買上規則第七條ノ規定ニ依り金製品指定(大藏省告示第三四四號)、金買上規則第七條第一號ノ規定ニ依ル指名(大藏省告示第三四五號)公布

海軍航空部隊は雙十節を期し第四十二回重慶攻撃を實施し午後二時重慶北方北培新村の敵殘存軍事施設を爆撃數ヶ所を炎上せしめ他の飛行隊は重慶周邊各飛行場に低空より果敢なる銃爆撃を加へ全機無事歸還せり。

十月十一日

紀元二千六百年特別觀禮式は爽涼の十一日大元帥陛下の行幸を仰いで横濱沖に

舉行された、陛下には堂々東京灣頭を壓する帝國海軍の威容を御親閲、長くも優渥なる勅語を賜はつて全將兵を御激勵遊ばされた、夫で全海軍將兵は恐懼感激、いよゝ練習に精進し時艱の克服を誓ひ奉るのである。

勅語

朕紀元二千六百年ニ際シ茲ニ觀艦式ヲ行ヒ親シク其ノ軍容ノ齊整ニシテ士氣ノ旺盛ナルヲ觀深ク之ヲ嘉ス今ヤ世局ノ騷亂甚シク帝國ノ使命益々重大ナルノ秋國軍ノ精強ヲ要スルコト愈切ナルモノアリ汝等倍々奮勵シ協心戮力朕カ朕敗ルノ本分ヲ竭シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セヨ

畏き邊の御裁可を経て支那事變第廿六回(海軍第十三回)論功行賞が十一日賞勳局並に海軍省から公表された。恩賞に浴した光榮の勇士は總員四百六十一名、成都、蘭州の空爆行をはじめ上海その他大陸戦線の各地に樹立した赫々たる武勳を

遺して昭和十二年十一月四日から本年四月二十九日までの間に散華した海軍將兵軍屬でその内譯は將校四十一名准士官兵四百十四名、軍屬六名、輝く海の荒鷲が特に多數恩賞に浴して居り、戦死者のほか戦傷病死殉職病死者も含まれてゐる。

十月十二日

新日本建設の歴史を畫すべき大政翼賛會の發會式は十二日午前九時から首相官邸で舉行

總裁近衛首相はじめ全閣僚、全内閣參議、舊政黨總裁、貴衆兩院議長等の翼賛會顧問並に參與及び有馬事務總長末次國民協力會議々々以下常任總務、總務、事務局各局長部長、副部長等大政翼賛會首腦部全員を集めて開會、先づ宮城遙拜、默禱、國歌齊唱の後近衛總裁よりさきに紀元二千六百年紀元節に際し賜はりたる詔書捧讀、有馬事務總長から會成立の經過を報告した後會規約、運動綱領及び宣言を發表、最後に近衛總裁

よりその發足に當つての決意を表明する挨拶が行はれ世界の情勢いよゝ緊迫を告げるの秋、國內新體制運動は全國民期待の裡に逞しい巨歩を踏み出すことゝなつた。

未曾有の國際難局に對處し新たなる高度國防國家建設に向つて發足する大政翼賛會は十二日首相官邸でその歴史的發會式を舉行した。午前九時廿三分開會、總裁近衛首相はじめ、全閣僚全内閣參議及び舊政黨總裁、兩貴衆院議長等の翼賛會顧問、參與、有馬事務總長、末次國民協力會議長以下常任總務、事務局局長部長、副部長等出席、松前總務部長の司會で、一、宮城遙拜。一、國歌齊唱。一、紀元二千六百年紀元節に際し賜はりたる詔書捧讀。一、戦歿將兵の英靈に對する感謝並に出征將兵の武運長久祈願の默禱。一、有馬事務總長の經過報告。一、近衛總裁挨拶。一、萬歳奉唱の順序で嚴肅裡に式を進め同九時四十三分開會したが近衛總裁

は、その抄抜において「運動の本質は大政翼賛の巨道實踐といふ事に盡きる、即ち上御一人に對し奉り、日夜夫々の立場に於て奉公の誠をいたすこと、これ以外に綱領も旨言もない」と述べさきの準備委員會及び常任幹事會に於て一應の結論を得た大政翼賛運動の運動綱領、並に發會式において發表しない旨の統裁を下し、運動に際しては綱領、宣言等の形式によつて多く言ふを避け、ただ「大政翼賛の巨道實踐」といふ簡潔なしかも力強い旗幟によつて新日本建設の大業に邁進するの決意を明かにした。又有馬事務總長は経過報告中において特に萬民翼賛の「大政翼賛運動」とこれを推進せしめるための「大政翼賛會」との關係及び大政翼賛會と政府並に議會との關係を明かにした上準備委員會においてなされた「誓」を改めて讀みあげ新體制確立に邁進する國民の心構へを新たに喚起した

河田藏相は大阪造幣局における貨幣試

験に臨席のため十二日午後五時大阪驛着特急「つばめ」で來阪したが、車中往訪の記者に對し金融市場梗塞打開對策中小商工業金融難緩和策等に對し大要左の如く語つた、就中中小商工業對策に關しては原材料とにちみ合せて各業界全般に互り計畫性ある轉業對策確立の急務を強調又金融市場梗塞の打開に關しては今後豫金部資金の相當程度出動の準備ある旨を言明したことは注目を惹いた。

わが精銳は去る三日以來江南各地の掃蕩作戰を開始したが右に關し中支軍では十二日午後四時〇〇軍司令部に於て左の當局談を發表した。

去る三日より江南第三戰區の諸區域に對する作戰を開始せり、當面の敵凡そ二十ヶ師は堅固に構築せる既設陣地と山岳の天險及び相錯綜するクリク地帯に據り抵抗しつゝあるもわが各兵團は陸海軍飛行隊及び艦艇と密接に協力し順次に敵を擊破しつゝ破竹の勢を以て敵中深く突

進し戰況は逐日有利に進展しつゝあり。ルーズヴェルト大統領は選舉運動旅行の途次十二日恰もコロンブスの新大陸発見の記念日當日オハイオ州のデイトンにおいて世界各國に呼びかける放送演説を行ひ米國が日獨伊三國同盟に對し對抗する決意ある旨を明かにした右は三國同盟成立以來ルーズヴェルト大統領が自ら行つた最初の強硬演説として注目され

十月十四日

江南大平原に蠢動を續ける敵第三戰區顧祝同司令麾下の大軍殲滅戰の火蓋を切つたわが精銳諸部隊の戰況はますます有利に展開し隨所に當面の敵を擊破し多大の戰果を收め十四日朝來更に各方面に互つて猛進中である。中にも十三日煤山炭礦を占領した高橋、石井兩部隊は十四日朝周邊の敵六十二師、新編三十師獨三十六旅の大軍を擊破し引續き〇〇方面に追撃中である。

尙煤山炭礦の埋藏量は中支においては淮南炭礦に匹敵するもので、大陸經濟工作上かなり重視されてゐる。

十三日朝までの諸部隊綜合戦果は左の如し

敵遺死體三千四百四十二、捕虜百九十三、

三、鹵獲品迫撃砲二、重機十四、輕機

三十七、小銃六十五、手榴彈八百四十

五等多數、わが戦死七十

大政翼賛會議會局の役員(衆議院關係)

は前田局長の手許で銓衡中であつたが十四日左の通り内定した、既に決定した部長四名のはか庶務部、審査部、議事部の

副部長は各五名、理事は各十名としたが臨時選舉制度調査部だけは問題が當面最も緊急重要なため副部長八名理事十二名とし、審査部は全議員が籍を置き各部門別に委員會を常置し政府各省との連絡及び重要問題の審議研究を行ふことになつてゐるため特に主査十名を置いた。

副部長の人選に當つては各黨派の擬合

ひといふよりも寧ろ全代議士を一丸とみてその中から中堅分子を選び理事は舊政黨に於る幹事級ともいふべき新進氣鋭の士を以て充ててゐる。右役員中庶務部副部長の林唯義氏のみは代議士でなく議會制度の研究者である。

◇庶務部長 田邊 七六

◇審査部長 砂田 重政

◇議事部長 大藤 唯男

◇臨時選舉制度調査部長 清瀬 一郎

◇庶務部副部長(五名) 林唯義、阿野龍一、中井一夫、中井川浩、篠原義政

◇審査部副部長(五名) 西方利馬、小畑虎之助、河野密、宮澤胤男、肥田琢司

◇議事部副部長(五名) 井上知治、伊豆富人、武知勇記、棧部健太郎、三浦虎雄

◇臨時選舉制度、調査部副部長(八名) 飯村五郎、岩瀨亮、東條貞、中村三之

丞、上田孝吉、眞鍋儀十、淺沼稻次郎 由谷義治

◇審査部主査(十名)

池田秀雄、伊禮肇、加藤鯛一、横川重次、津雲國利、中島彌國次、前田房之助、岸田正記、末松偕一郎、助川啓四郎

◇庶務部理事(十名)

伊藤五郎、羽田武嗣郎、濱地文平、西川員一、川副隆、高橋圓三郎、長野長廣、山本衆吉、坂本宗太郎、三田村武夫

◇審査部理事(十名)

池本甚四郎、道家齊一郎、川崎巳之太郎、田中好、土屋寛、鶴惣市、卯尾田毅太郎、野口喜一、藤本捨助、森田重次郎

◇議事部事理(十名)

服部崎市、原玉重、田中源、曾和義次、塚本重藏、成島勇、中田儀直、松川昌藏、小泉純也、小林房之助

◇臨時選舉制度調査部理事(十二名)

一名未定

伊東岩男、太田理一、高橋義次、塚本

三、内藤正剛、山崎劔二、松浦伊平、

小池四郎、江原三郎、森下國雄、清寛

十月十五日

賜金國庫債券規則(大藏省令第七四號)公布

京都府書記官 鈴木 脩藏

任北海道廳部長(土木部長)

北海道部長 今松 治郎

任和歌山縣知事

依願免本官 和歌山縣知事 清水 重夫

清水氏は大政翼賛會組織部長に就任せら

る

海軍中將 住山徳太郎

親補佐世保鎮守府司令官

海軍少將 金澤 正夫

補佐世保鎮守府參謀長

海軍少將 敬純

補海軍省軍務局長

米國當局は極東情勢に鑑み在留米人の

引揚げを行ひつゝあるがそれと共に西半
球外への旅行をも禁止することに決し十
五日次の如く言明した。國務省は今後緊
急理由の證明されざる限り極東のみならず
西半球以外如何なる地域に對しても旅
券の發給を一切停止することになつた。

獨空軍の對英空襲は一日の休止もなく
繼續され、ロンドン始め〇〇及び〇〇方
面の主要港灣に對しても猛爆を浴せつゝ
ある模様である。歐洲戦局の本舞臺が漸
く東地中海に移行せんとし同方面の形勢
は正に風雲急を告げてゐるがロンドン空
襲がその後緩和されたかといふに決して
さうではなく暮足の早くなつた初冬のロ
ンドンには晝夜間斷なく警報が鳴り渡り
夜間は日没と共に午後七時には既にロン
ドンは戰場と化し未明に至るまで爆撃と
高射砲の轟音が相變らず大ロンドン市を
搖がせてゐる就中十四日より十五日早朝
にかけて獨機の空襲よりは今次ロンドン
大空襲以來最も熾烈を極め獨機はロンド

ンの至るところに爆彈、焼夷彈、時計爆
彈「モロトフのパン籠」を數秒おきに投下
した。

英空軍は十四日夜霜雲を衝いてベルリ
ンキール、ウイヘルヘルムズヘーフエン、エ
ツェンブローロニーニ、ハンブルグ等獨領
各地爆撃を敢行した、ベルリンに於ては
爆彈は市の中央部に對して投ぜられエツ
センのクルツプ工場、自動車道路、鐵道
交叉點、工場施設、飛行場等をも爆撃更
にオステンドル、アイブル、ダンケルク
カレー、フリシゲン等の獨占領地域に
も多數の直撃彈を浴せた。尙この爆撃に
はポーランドの輕爆隊も參加した。

十五日開會の全國警察部長會議午後二
時續開先づ福本圖書課長から内閣情報局
設置の經過新機構と内務省檢閱事務の關
係、今井醫務課長から映畫、演劇關係事
務の移管事項、赤羽經濟保安課長から最
近の米穀事情、今年度下半期の現況、來
年度の需給豫想米穀消費規正に關する注

意、木炭事情の現況、今冬の對策並に地方の出荷管勵について指示を行つた、これに對して部長側からは地方民の新體制に對する期待は大きいから中央部でもこの要望に應へられたしと激勵的意見の開陳があつた、主なる部長側の意見要望は左の通りである、

中村(和歌山)——警察の新體制については具體的對策を必要とする本省でも考慮せられたし

豊島(岡山)——米穀事情に伴ふ國家管理方法と小作紛議の關係につき注意せられたい、また管理米の供出時期の決定に際しては地方の小作米納入時期との關係を十分考慮せられたし

龜山(愛知)——中小商工業者に對する對策の樹立は急務であり、外國における經濟取締の實況に關する調査を要望する。

久山(長崎)——選舉法改正の進行狀況如何

右に對し藤原警保局長から

新體制は現在の程度では不十分かもしれないが、凡ての人の努力で出來上るのだから諸君の御努力を希望すると要望した、十六日は午前八時から關東關西の兩ブロックに分つて懇談會を開き藤原局長以下出席して地方の實情を詳細に聴取し意見の交換を行ふ。

インド國民會議派運用委員は、去る十三日全印非服從運動に關するガンデー案を採用したが、ガンデー翁はいよゝ起つて餘生をインド獨立運動開始を發表すると共にイギリスのインド統治に反對する左の如き聲明を行つた。

「餘はインド獨立のため、イギリスのインド統治に反對するとともに、全國的非服從運動の開始を宣言する、今同の非服從運動こそはインド獨立運動に一生涯を捧げて來た余の生涯における最後の闘争となるであらう」

十月十六日

國民職業能力申告方令中改正(勅令第六七三號) 國民徵用令中改正(勅令第六七四號) 賃金統制令(勅令第六七五號) 船員給與統制令(勅令第六七六號) 價格統制令等中改正(勅令第六七七號) 地代家賃統制令(勅令第六七八號) 會社經理統制令(勅令第六八〇號) 銀行等資金運用令(勅令第六八一號) 公布

全國金融協議會第一回總會は十六日午前十一時から丸之内銀行集會所に開催、來賓として近衛首相、河田藏相、石黒農相、星野企畫院總裁をはじめ關係各省の次官、局長等約三十名、及び結城會長以下會員約八十餘名出席、結城會長挨拶について宮城遙拜、戰後將兵の慰靈並に皇軍將兵の武運長久の默禱をなし、皇軍に對する感謝文を上程可決したる後津島委員から同協會創立以來の經過報告がありついで大政翼賛會との關係について「大政翼賛會の發足に際し本會は愈々其の聯繫を緊密にし經濟新體制の建設並に其健全

なる運用に協心戮力萬遺憾なからんことを期す」との決議をなして河田藏相並に結城總裁の演説があり正午過ぎ閉會した、なほ引續き來賓並に會員全員出席して懇親會に入り午餐を共にして歡談を遂げたが同懇親會席上近衛首相から金融界に於ても新體制に全面的協力をなし國家未曾有の難局打開に當りたい旨の挨拶があり午後二時過ぎ散會した。

江南の秀峯三州山山系を後楯に東は太湖北は長蕩湖、西は大南湖等の湖沼地帯に圍まれたる平原に敵大軍を追ひ込んだ江南の大殲滅戰は更に十五日深更に至つて包圍圈を五十キロに壓縮し、東西北各部隊相呼應して猛攻撃を敢行、敵第三戰區顧祐同麾下約二十萬の大軍は隨所に捕提され全く潰滅するに至つた。

大東亞共榮圈全民衆十億の要望をこゝに集めて「興亞厚生大會」は大阪市、日本、大阪兩厚生協會主催のもとに十六日朝大阪中央公會堂で嚴肅な幕を開いた、

大阪最初の大國際會議である、宣言は左の通りである。

宣言

われらは國家興隆の根元たる國民活動力充實のため健全明朗なる國民生活を確立しもつて興亞の大業を完遂し進んで世界新秩序の健設を期す

わが東西兩南部隊が、約五萬の敵第三戰區兵團を太湖西南地區において、ひしひしと包圍圈を壓縮しつつあるのに呼應し、十四日夜陰に乗じ太湖西方にある湖、長蕩湖中間地區より包圍圈の中心を直指し進撃を起した。十五日正午敵據點漂陽を攻略蹂躪し、江南の戰野を轉戦二旬におよんだ三部隊は完全に聯繫を遂げるとともにさらにそれ／＼反轉進撃を續けた。三日以來の綜合戰果は、敵遺棄死體約五千、敵第三戰區の基幹兵團たる第二十八軍および、第二遊撃區司令冷欣の麾下部隊をはじめ揚子江下流三角地帯擾亂の夢を描いて齏動中であつた。十數個

師の敵は潰亂四散し、再建再起不能の打撃を被つたわけである。

十月十七日

長き邊では今事變に赫々たる武勳を樹てた護國の英靈一萬一千八百八十七柱に對し行賞の御沙汰あらせられ、遺族の感激も一入深き靖國神社臨時大祭第二日の十七日、第二十七回支那事變行賞（陸軍第二十二回）として賞勳局並に陸軍省から發表された。北、中、南支及び滿洲各地で活躍し、昭和十二年九月十七日から同十五年四月二十九日まで死致した英靈で、戦（傷）死九千二百七十六柱、戰病死一千九百一十一柱、うち金鷄勳章を授賜さるゝもの九千二百十四、殊勳甲の優賞は南寧攻略の勇將中村正雄中將以上七十二柱の上に輝いてゐる。滿洲國軍人中日係藤井重郎少將（滿洲國中將）以下九柱、滿系朱家訓中將以下三十六柱が恩賞を辱うしてゐる。